

# 「脱原発とエネルギー転換」を勧告した ドイツ倫理委員会委員2名の 来日講演会・討論会のご案内

現在、日本でも福島原発事故を期に、国民の多数が脱原発を求め、再生可能エネルギーを中心とするエネルギー転換が全国各地で進もうとしています。ドイツは、脱原発とエネルギー転換を政策として決定・実施して2年余になります。この決定に大きな役割を果たしたのが、ドイツ倫理委員会「安全なエネルギー供給」の報告『ドイツのエネルギー転換』でした。レン、シュラーズ両教授は、その委員として多大な努力と貢献をされた方々です。

両先生の「日本の脱原発とエネルギー転換」を支援したいという強い熱意に支えられて、今回、日本の多くの市民と研究者、技術者、弁護士など専門家と意見交換する機会を設けることができました。非常に貴重な講演と討論の機会ですので、関心のある多くの方々のご参加をお願いいたします。

日時

2013年12月14日 18時～  
20時30分

場所

こどもの城 研修室906

〒150-0001 渋谷区神宮前 5-53-1 phone: 03-3797-5666, fax: 03-3797-5676

参加費無料  
日英同時通訳あり

講演

## 「ドイツにおけるエネルギー政策転換の社会的ルーツ」

オルトヴィン・レン教授（シュトゥットガルト大学：環境・技術社会学：リスク・技術革新学際研究センター所長）

## 「専門家委員会の討議と市民との対話（仮題）」

ミランダ・シュラーズ教授（ベルリン自由大学：比較政治：環境政策研究センター所長）

自由討論

主催：法政大学社会学部科研費プロジェクト（代表：船橋晴俊、法政大学社会学部教授）  
：原子力市民委員会（座長：船橋晴俊）

連絡先：科研費プロジェクト 壽福眞美 e-mail:mjfk@hosei.ac.jp